

科目名	声優実技研究 I	科目ナンバリング	VA1V1N01
担当者	小松野 希海 他		
担当形態	単独	単位数	3単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次
開講時期	前期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
	※		
	音楽療法	ディプロマポリシー	
		ABCDEF	
備考			

授業のテーマ及び到達目標	声優に必要な身体表現について実践的に学ぶ。自らの声と身体を研究する中で、表現者としての基礎となる力を養う。			
授業の概要	現役の声優、音響監督等、実際の現場に立つ講師陣から、声優として必要なスキルや声優業界についての知識や現状について実践的に学ぶ。演技力、表現力、本番感覚等、表現者として必要とされる総合的な基礎力を養うため、作品を創作しステージ公演を行う。表現者としての基礎となる土台を築く。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	3	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	4	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	5	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	6	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	7	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	8	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備

	9	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	10	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	11	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	12	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	13	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	14	作品創作仕上げ	発表に向けての準備	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	15	作品発表	発表に向けての準備	発表を経て気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	40%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	30%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	発表から演技者として必要なものを考察する	

科目名	声優実技研究Ⅱ	科目ナンバリング	VA1V1N02		
担当者	小松野 希海 他				
担当形態	単独	単位数	3単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	声優に必要な身体表現について実践的に学ぶ。自らの声と身体を研究する中で、表現者としての基礎となる力を養う。			
授業の概要	現役の声優、音響監督等、実際の現場に立つ講師陣から、声優として必要なスキルや声優業界についての知識や現状について実践的に学ぶ。演技力、表現力、本番感覚等、表現者として必要とされる総合的な基礎力を養うため、作品を創作しステージ公演を行う。表現者としての基礎となる土台を築く。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	3	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	4	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	5	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	6	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	7	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	8	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備

	9	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	10	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	11	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	12	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	13	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	14	作品創作仕上げ	発表に向けての準備	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	15	作品発表	発表に向けての準備	発表を経て気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実 基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実 基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	40%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	30%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	発表を経て、気づいたこと、学んだことを書く	

科目名	ボーカル実技 I	科目ナンバリング	VA1V1E09		
担当者	石本 皓資				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	解剖学など科学的なメソッドをベースとし、発声の基本的なメカニズムの学習を促し、自分自身の知識に入れ、情報過多な現代社会の中で正しい情報を取捨選択できる能力を形成していくことを課題として取り入れる。なぜ自分の声がかうなっているのか分析できる能力の獲得を根底におきながら、基盤である地声と裏声の形成をしていくことを重視していき、発声の基礎が習得できた後は最新のポップス歌唱に必要な知識と技術を習得、様々な声の音色を奏でられるようにした上で歌唱法を獲得していく。			
授業の概要	呼吸の理解、腹式呼吸のコントロール、地声の形成、裏声の形成、胸部共鳴、咽頭腔共鳴、口腔共鳴、鼻腔共鳴、頭部共鳴、声量の獲得、声区の理解、換声点の理解、音程の正確さの向上、リズム感の向上、歌詞の読み解き方、コード理論の基礎、様々な声の獲得(チェストボイス、ヘッドボイス、エッジボイス、ウィスパーパーボイス、ファリンジアルボイス、ネイザル、ロウラリ、ハイラリ、ベルティングボイス、ミックスボイス、ラスピーボイス)様々な歌唱法の獲得(ビブラート、フェイク、ベンドアップ、フォール)			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 座学 基本の呼吸法	シラバスを読む	今回分の座学と実技の練習
	2	座学(声と呼吸の基礎) 発声練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	3	座学(声帯のコントロール) 発声練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	4	座学(発声と舌の関係性) 発声練習 選曲	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	5	現在の歌唱レベルの測定、発表課題を見つける	前回分座学と実技の復習	自分の課題と向き合う
	6	座学(パーツアプローチ) 発声練習 歌唱練習	課題に対しての自己評価	今回分の座学と実技の練習
	7	座学(身体の共鳴) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	8	座学(歌唱法) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習

	9	座学(歌唱技術) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	10	現在の歌唱レベルの測定、発表 課題を見つける	前回分座学と実技 の復習	自分の課題と向き 合う
	11	総合練習 呼吸法－発声練習－歌唱練習	課題に対しての自 己評価	今回分の座学と 実技の練習
	12	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	13	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	14	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	15	まとめ(課題曲のソロ歌唱による試験)	試験で歌唱する課 題曲の練習	発声練習、授業で 歌唱した課題曲 の練習

使用教科書	講師作成資料配布
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	20%	出席、課題への積極的な取り組み
課題発表	40%	授業を通して学んだことを活かし発表する	
試験	40%	全授業を通して学んだことを活かし発表する	

科目名	ボーカル実技Ⅱ	科目ナンバリング	VA1V1E10		
担当者	石本 皓資				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	解剖学など科学的なメソッドをベースとし、発声の基本的なメカニズムの学習を促し、自分自身の知識に入れ、情報過多な現代社会の中で正しい情報を取捨選択できる能力を形成していくことを課題として取り入れる。なぜ自分の声がこうなっているのか分析できる能力の獲得を根底におきながら、基盤である地声と裏声の形成をしていくことを重視していき、発声の基礎が習得できた後は最新のポップス歌唱に必要な知識と技術を習得、様々な声の音色を奏でられるようにした上で歌唱法を獲得していく。			
授業の概要	呼吸の理解、腹式呼吸のコントロール、地声の形成、裏声の形成、胸部共鳴、咽頭腔共鳴、口腔共鳴、鼻腔共鳴、頭部共鳴、声量の獲得、声区の理解、換声点の理解、音程の正確さの向上、リズム感の向上、歌詞の読み解き方、コード理論の基礎、様々な声の獲得(チェストボイス、ヘッドボイス、エッジボイス、ウイスパーボイス、ファリンジャルボイス、ネイザル、ロウラリ、ハイラリ、ベルティングボイス、ミックスボイス、ラスピーボイス)様々な歌唱法の獲得(ビブラート、フェイク、ベンドアップ、フォール)			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを読む	今回分の座学と実技の練習
	2	座学(ウイスパーボイス) 発声練習 歌唱練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	3	座学(エッジボイス) 発声練習 歌唱練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	4	座学(ファリンジャルボイス) 発声練習 歌唱練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	5	現在の歌唱レベルの測定、発表課題を見つける	前回分座学と実技の復習	自分の課題と向き合う
	6	座学(ベルティングボイス) 発声練習 歌唱練習	課題に対しての自己評価	今回分の座学と実技の練習
	7	座学(ミックスボイス) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	8	座学(ラスピーボイス) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習

	9	座学(声の応用) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	10	現在の歌唱レベルの測定、発表 課題を見つける	前回分座学と実技 の復習	自分の課題と向き 合う
	11	総合練習 呼吸法－発声練習－歌唱練習	課題に対しての自 己評価	今回分の座学と 実技の練習
	12	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	13	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	14	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	15	まとめ(課題曲のソロ歌唱による試験)	試験で歌唱する課 題曲の練習	発声練習、授業で 歌唱した課題曲 の練習

使用教科書	講師作成資料配布
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	20%	出席、課題への積極的な取り組み
課題発表	40%	授業を通して学んだことを活かし発表する	
試験	40%	全授業を通して学んだことを活かし発表する	

科目名	ダンス実技 I	科目ナンバリング	KC1V1N17		
担当者	長江 美佳				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				AD
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	体幹・体づくり バレエ・ジャズダンスの基礎を学ぶ			
授業の概要	自分自身の体を知り、ダンスを通して表現する力を広げる			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション ①アイソレーション、ストレッチ	シラバスを熟読する	本時で学び得たことをまとめる
	2	①+ ②体幹トレーニング、筋トレ・呼吸	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	3	①+②	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	4	①+②	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	5	①+②+ ③バレエ・ジャズダンス基礎	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	6	①+②+③	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	7	①+②+③	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
8	①+②+③	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	

	9	①+②+③+ ④基礎の応用	体調を整え、準備物の確認しておく	本時で学び得たことをまとめる
	10	①+②+③+④	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	11	①+②+③+④	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	12	①+②+③+④	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	13	①+②+③+④	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	14	①+②+③+④	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	15	まとめ、発表	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる

使用教科書	
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	まとめ・発表	50%	学んだ成果を十分に発揮しているか
	平常点(態度)	50%	意欲的に練習に取り組んでいるか

科目名	ダンス実技Ⅱ	科目ナンバリング	KC1V1N18		
担当者	長江 美佳				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※		選択必修	選択必修	AD
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	前期以上の体幹・体づくり バレエ・ジャズダンスの基礎を続けつつ、振付も学ぶ			
授業の概要	整え、強化した体を使い振付を踊る			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	・アイソレーション ・体幹 ・ストレッチ ・バレエ基礎 ・筋トレ これらを前期よりさらにパワーアップしてやる	シラバスを熟読する	本時で学び得たことをまとめる
	2	1に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	3	1に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	4	・ジャズダンスの振付に必要な体の使い方 ・簡単な振付	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	5	4に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	6	4に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	7	4に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
8	発表、テストのための振付 ※場合によってはグループに分けて振付・発表	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	

	9	8に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	10	8に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	11	8に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	12	8に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	13	8に同じ	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	14	8に同じ	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	15	まとめ、発表、テスト	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる

使用教科書	
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	まとめ・発表	50%	学んだ成果を十分に発揮しているか
平常点(態度)	50%	意欲的に練習に取り組んでいるか	

科目名	音声学 I	科目ナンバリング	VA1V1N21		
担当者	大塚 裕一				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCF
備考	※声優コースは必修				

授業のテーマ及び到達目標	日本語の音声がどのような仕組みで発せられているのか正しく理解し、さらにはその発声方法などを学び、音声についての基本的知識を身につける。基本的知識を得られた後に、自身や他者の発音についてその特徴を正確に捉えるための技術を身につけ、国際音声記号を用いて様々な音声を記述できる。			
授業の概要	我々は日常生活で普段意識することなくコミュニケーションの活動の中心として音声を使って自分の考えや思いを他者に伝えています。しかしそれがどのような仕組みで生み出されているのかはほとんど考えたことがないと思います。この講義では、音声を使って自分の考えや思いを発する、いわゆる話すという行為がどのように生み出され、どのように伝わるのかを考えていきます。声優としての基本的知識として必要になる人間の発声メカニズムを学びます			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	音声学とは？ に含まれる分野～ ～音声を扱う分野と音声学	音声学という学問について調べておく	配布物(音声学)の理解をする
	2	発声の仕組みする器官～ ～発声のメカニズムと関連	発声の仕組みを事前に調べておく	配布物(発声の仕組み)の理解をする
	3	母音の構音おのの違い～ ～日本語の「あ・い・う・え・	母音の出し方を事前に調べておく	配布物(母音の構音)の理解をする
	4	子音の構音①基準～ ～子音の分類とその	子音の種類を事前に調べておく	配布物(子音の構音①)の理解をする
	5	子音の構音② ～様々な子音の特徴～	子音の発声の仕方を事前に調べておく	配布物(子音の構音②)の理解をする
	6	母音と子音を見るペクトログラム～ ～音声を見る!?, サウンドス	サウンドスペクトグラムについて調べておく	配布物(母音と子音を見る)の理解をする
	7	音のまとまりと規則性 ラ,調音結合を知る～ ～音素と音声,音節とモー	それぞれの用語の定義を調べておく	配布物(音のまとまりと規則性)の理解をする
	8	韻律強調を知る～ ～アクセント,イントネーション,	韻律とはどのようなものか調べておく	配布物(韻律)の理解をする

使用教科書	なし
参考書・参考資料等	なし、資料配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	筆記試験	100%	内容の理解

科目名	コミュニケーションワークショップ I	科目ナンバリング	VA1V1N31
担当者	亀井 純太郎		
担当形態	単独	単位数	2単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次
開講時期	前期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
	※		
		音楽療法	ディプロマポリシー
			ACEF
備考	※声優コース必修		

授業のテーマ及び到達目標	社会で通用する人間力を養う。仕事の現場でトラブルを起こさない、他者と円滑な関係を結ぶことができる職業人・舞台人としての人間力を高める。			
授業の概要	演劇的手法を用いたワークショップで、正解のない課題に小グループで取り組む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	2	コミュニケーションゲーム コミュニケーションゲーム等を通して自分について掘り下げる。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	3	コミュニケーションゲーム コミュニケーションゲーム等を通して自分について掘り下げる。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	4	コミュニケーションゲーム コミュニケーションゲーム等を通して自分について掘り下げる。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	5	初歩的創作 自分ではない別の何かを「演じる」ことについて考え、自己表現についての理解を深める。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	6	初歩的創作 自分ではない別の何かを「演じる」ことについて考え、自己表現についての理解を深める。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	7	初歩的創作 自分ではない別の何かを「演じる」ことについて考え、自己表現についての理解を深める。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	8	初歩的創作 自分ではない別の何かを「演じる」ことについて考え、自己表現についての理解を深める。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

	9	初歩的創作 自分ではない別の何かを「演じる」ことについて考え、自己表現についての理解を深める。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	10	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	11	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	12	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	13	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	14	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	15	発表 作品をお互いに見あう。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

使用教科書	適宜、必要な資料を配布
参考書・参考資料等	「わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か」(講談社)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	コミュニケーションワークショップⅡ	科目ナンバリング	VA1V1N32
担当者	亀井 純太郎		
担当形態	単独	単位数	2単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次
開講時期	後期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
	※		
		音楽療法	ディプロマポリシー
			ACEF
備考	※声優コース必修		

授業のテーマ及び到達目標	社会で通用する人間力を養う。仕事の現場でトラブルを起こさない、他者と円滑な関係を結ぶことができる職業人・舞台人としての人間力を高める。			
授業の概要	演劇的手法を用いたワークショップで、正解のない課題に小グループで取り組む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	2	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	3	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	4	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	5	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	6	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	7	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	8	中間発表 作品をお互いに見合う	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

	9	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	10	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	11	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	12	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	13	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	14	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	15	発表 作品をお互いに見合う	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

使用教科書	適宜、必要な資料を配布
参考書・参考資料等	「わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か」(講談社)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	舞台発声表現概論 I	科目ナンバリング	VA1V1N33		
担当者	小松野 希海				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				BDE
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	感情を音声として表現するための呼吸のコントロール、呼吸のコントロールのための柔軟性のあるしっかりとした身体づくり。			
授業の概要	楽器である身体のコントロール、呼吸など「発声」のための基礎を定着させる。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 身体づくり、呼吸法(1)	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	身体づくり、呼吸法(2)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	3	身体づくり、呼吸法(3)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	4	身体づくり、呼吸法(4)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	5	身体づくり、呼吸法(5)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	6	身体づくり、呼吸法(6)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	7	身体づくり、呼吸法(7)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	8	身体づくり、呼吸法(8)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習

	9	発声法(1)	ストレッチ、マッ サージ	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	10	発声法(2)	ストレッチ、マッ サージ	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	11	発声法(3)	ストレッチ、マッ サージ	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	12	発声法(4)	ストレッチ、マッ サージ	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	13	発声法(5)	ストレッチ、マッ サージ	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	14	発声法(6)	ストレッチ、マッ サージ	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	15	発声法(7) まとめ	ストレッチ、マッ サージ	授業を通して気づ いたことをレポー トにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	舞台発声表現概論Ⅱ	科目ナンバリング	VA1V1N34		
担当者	小松野 希海				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				BDE
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	声優として正確にセリフを伝えるために、日本語の母音と子音の正しい発音を体得する。			
授業の概要	言葉を自在に操るために、発音の基礎を実践的に行い、定着させる。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 日本語の母音(1)	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	日本語の母音(2)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	3	日本語の母音(3)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	4	日本語の母音(4)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	5	日本語の母音(5)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	6	日本語の子音(1)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	7	日本語の子音(2)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	8	日本語の子音(3)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習

	9	日本語の子音(4)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	10	日本語の子音(5)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	11	滑舌(1)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	12	滑舌(2)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	13	滑舌(3)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	14	滑舌(4)	ストレッチ、マッサージ	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	15	滑舌(5) まとめ	ストレッチ、マッサージ	授業を通して気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	戯曲概論 I	科目ナンバリング	VA1V1N35		
担当者	亀井 純太郎				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				BCDE
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	上演を目的とし、アクション等が記された作品創作のための設計図である戯曲の読み方を体得する。			
授業の概要	戯曲の読み方を学ぶ。戯曲読解のスキルを高めるため、俳優・声優として必ず読んで学んでおくべき各年代の代表的な戯曲を読む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 古典的戯曲(1)	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習
	2	古典的戯曲(2)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	3	古典的戯曲(3)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	4	古典的戯曲(4)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	5	古典的戯曲(5)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	6	リアリズム(1)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	7	リアリズム(2)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	8	リアリズム(3)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習

	9	リアリズム(4)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	10	リアリズム(5)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	11	叙事詩劇(1)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	12	叙事詩劇(2)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	13	叙事詩劇(3)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	14	叙事詩劇(4)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	15	叙事詩劇(5) まとめ	課題戯曲を読む	授業を通して気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	60%	出席、課題への積極的な取り組み
レポート	40%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	戯曲概論Ⅱ	科目ナンバリング	VA1V1N36		
担当者	亀井 純太郎				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				BCDE
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	上演を目的とし、アクション等が記された作品創作のための設計図である戯曲の読み方を体得する。			
授業の概要	戯曲の読み方を学ぶ。戯曲読解のスキルを高めるため、俳優・声優として必ず読んで学んでおくべき各年代の代表的な戯曲を読む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 自然主義(1)	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習
	2	自然主義(2)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	3	自然主義(3)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	4	自然主義(4)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	5	自然主義(5)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	6	不条理劇(1)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	7	不条理劇(2)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	8	不条理劇(3)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習

	9	不条理劇(4)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	10	不条理劇(5)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	11	詩的演劇(1)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	12	詩的演劇(2)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	13	詩的演劇(3)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	14	詩的演劇(4)	課題戯曲を読む	授業で学んだ内容を復習
	15	詩的演劇(5) まとめ	課題戯曲を読む	授業を通して気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	60%	出席、課題への積極的な取り組み
レポート	40%	授業を通して気づいたことを考察する	